

吸入薬の薬効・適応・デバイス早見表 2020

師走も半分を過ぎ 2020 年も終わりが見えてきた今日この頃、予想通りといえますが冬本番になるにつれて新型コロナウイルスも感染を拡大しつつあります。世間の話題だけでなく医療の現場でもファビピラビル(アビガン®)、レムデシビル(ベクルリー®)、デキサメタゾン(デカドロン®)とコロナ治療薬の情報が活発に議論されています。

コロナ関係に押されて聞こえにくくなっているかもしれませんが、実は喘息や COPD の治療薬も色々と新しい吸入薬が増えてきました。新しい剤形のエアロスフィアが登場し、更には ICS/LABA/LAMA のトリプル製剤の開発が続いています。新しい薬剤が増えるのは患者さんの治療の選択肢が増えることでもあるので大歓迎ですが、吸入薬それぞれの適応を覚えるのが更に複雑になってしまいました。

今回は自身の復習も兼ねまして処方されやすい吸入薬が喘息、COPD、その両方と、どの適応があるのかまとめて表を作成してみました。少しでも業務に役立てられるようでしたら幸いです。

埼玉県立循環器・呼吸器病センター 薬剤部 柳田絢子

表の見方

縦軸

薬効クラス (ICS：吸入ステロイド、LABA：長時間作用型 β 刺激薬、LAMA：長時間作用型抗ムスカリン薬)

横軸

デバイスの大分類(DPI：ドライパウダー吸入器、pMDI：加圧噴霧式定量吸入器、SMI：ソフトミスト吸入器)

薬剤名の枠の色

適応 (オレンジ：喘息、緑：COPD、紫：両適応)

となっており、同形状のデバイスを近くに配置し枠でまとめています。

※ 現在の処方選択上、新規処方の可能性が乏しい薬剤については表に入れていません。(これらの薬剤について現在使っており、病状が安定している方については薬剤変更が手技不良リスクであり、変更しないことをおすすめします。)

フルタイド (ロタディスク、ディスクス、エアゾール)

セレベント (ロタディスク、ディスクス)

アドエア (ディスクス、エアゾール)

アズマネックス・ツイストヘラー、スピリーバ・ハンディヘラー

キューバル・エアゾール、エクリラ・ジェヌエア

※ 今回は長期管理薬の整理を目的にしており、SABA(短時間作用型 β 刺激薬)、SAMA(短時間作用型抗ムスカリン薬)は表に入れていません。

	ICS	LABA	LAMA
DPI	アニュイティ 規格：100,200 レルベア 規格：100 レルベア 規格：200 テリルジー 規格：100 テリルジー 規格：200		エンクラッセ アノーロ エリプタ レルベア 規格：50
	シムビコート パルミコート 規格：100,200	オーキシス オンブレス	タービューヘイラー シーブリ ウルティブロ ブリーズヘイラー
	アテキュラ 規格：低,中,高用量 エナジア 規格：中,高用量		
pMDI	オルベスコ・インヘラー 規格：50,100,200 フルティフォーム・エアゾール ビレーズトリ ビベスピ	フルティフォーム・エアゾール ビレーズトリ ビベスピ	エアロスフィア
SMI		スピールバ 規格：1.25 スピールバ 規格：2.5 スピオルト	レスピマット